

【海外からの風】

ブラジルとペルーでの学術交流記

上川 通夫

2011年度の本学「魅力あふれる大学づくり事業」の「協定校との学術交流の推進」に申請して採択され、ブラジルとペルーを訪問した。内容は、(1)ブラジル・サンパウロ大学との協定締結（2010年6月）に伴う実務者協議、サンパウロおよびロンドリーナ（パラナ州）日系人協会との学術交流、(2)ペルー・リマカトリック大学との学術交流に関する継続的協議である。

この内、(1)に関して、3大学で計4回、日本中世史の招聘講演を行った（すべて同内容）。それぞれ、対応してくださった方々のお名前とともに記し、感謝申し上げる。

①サンパウロ州立大学（UNESP）11月8日

サラ・デ・オリヴェイラ（Sarah de Oliveira 学生（コーディネーター））、
アントニオ・マルコス・ブエノ（Antonio Marcos Bueno）学生（コーディネーター）

②ロンドリーナ州立大学（UEL）11月8日

マリネテ・ヴィオリン（Marinete Violin）法務部顧問、マヌエル・シモン
インス・フィリョ（Manuel Simões Filho）国際交流部長、アンジェリータ
・マルケス・ヴィサリ（Angelita Marques Visalli）ロンドリーナ歴史博物
館長・中世史教員 Dra.、藤井・岡林エステーラ日本文化研究センター所
長、ベレニセ・キンザニ・ジオルダウン（Berenice Quinzani Jordão）副学
長、土屋雅晴氏（Paulo Masaharu Tsuchiya、通訳）

③サンパウロ大学（USP）哲学・文学・人間科学部 11月10日、11日

Junko Ota 同学部教授、Madalena Hashimoto 同学部教授、森幸一日本文化
研究センター長、アルーダ・竹田祐子氏（Yuko Takeda P.de Aruda、通訳）、
久保ルシオ氏（Lucio S.Kubo、通訳）

この出張には、川畑博昭准教授（本学日本文化学部歴史文化学科）が同行され、万般準備していただいた。①サンパウロ州立大学では通訳もしていただいた。また、①②の2大学での講演は、川畑氏のご友人でパラナ州ロンドリーナ在住の建築士にして広い人脈のある、マルコ・アウレリオ・ピアセンチ氏（Marco Aurelio Piacenti）のご尽力によって実現したものである。お礼申し上げる。

以下に掲載するのは、招聘講演の原稿である。当日は、通訳をはさみながら、すべて日本語で話した。聞いてくださった学生、大学院生、教職員の方々からは質問や感想をいただいたが、ここでは概略を付記することにする。また後ろに、講演のポルトガル語訳を併載する。翻訳は、大杉育美さん（愛知県立大学文学部日本文化学科からサンパウロ大学に留学中）と川瀬博之君（同、2010年度留学生）が行い、川畑博昭氏が監修したものである。引用図版の用意は、服部光真君（本学大学院生）に手伝っていただいた。あわせてお礼申し上げる。



サンパウロ大学の講演会ポスター (Cartaz da palestra na USP)



サンパウロ大学 日本文化研究所での講演
(Palestra no Centro de Estudos Japoneses-CEJAP na USP)